2022 年 4 月 6 日

関係各位

株式会社ドーム

伊藤忠商事への株式譲渡合意を受けての代表取締役 CEO・安田のメッセージ

株式会社ドーム（本社：東京都江東区、代表取締役 CEO：安田秀一）は、当社の発行済み株式の過半数を伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 COO：石井敬太）へ株式譲渡することで既存株主と同社が昨日までに合意し、契約が締結されたことを受け、代表取締役 CEO である安田秀一のメッセージを別紙の通りお知らせします。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社ドーム　広報・関根
TEL： 03-6757-6306
hsekine@domecorp.com

日頃よりドームをご愛顧いただき、ありがとうございます。

今回、伊藤忠商事様がドームの親会社となることで、伊藤忠商事様、米アンダーアーマー社、ドームの三社で合意するに至りました。

まずは、これまで長きにわたり、ドームをご支援いただき、心より感謝申し上げます。直接お礼申し上げることができず、このような形でのコメントとなること、申し訳ございません。

協議中の点も多く、お伝えできることは限られておりますが、これまでご支援いただいた皆さまへ、可能な限り率直に、経緯や今後のことについて説明させてください。

ドームは 2019 年に業績が悪化し、重ねて 2020 年からのコロナ禍という社会情勢を一変させる大きな環境変化を受け、より安定した経営基盤作りを企図し、金融機関様やアンダーアーマー社と協議を続けてきました。

その結果、自由奔放なベンチャー企業のフェーズから、大企業の経営インフラを活用した堅実な経営フェーズに移行するべきという結論に至り、株主となっていただける新たなパートナー企業を選定することとなりました。

ドームは自らが作った会社であり、パートナー企業の選定は、いわば自分の子どもの結婚相手を見つけ出すような作業でした。もちろん、まだ結婚させたくない気持ちもありましたが、先行き不透明な社会環境の中、子どもの将来を考えると、ベストな結婚相手を見つけることが親の務めだと考えました。

そして、誠に幸運なことに、日本のアパレル・テキスタイル産業を牽引されてきた伊藤忠商事様とのご縁に恵まれ、伊藤忠商事様をドームの親会社およびアンダーアーマーブランドのライセンシーとすることで、アンダーアーマー社を含めた三社で合意することができました。

今後の経営体制など詳細については、引き続き伊藤忠商事様、アンダーアーマー社と協議しております。ただ、昨今の外部環境の激変はありましたが、2019 年の業績不振は明確な僕の経営責任であり、また僕自身、創業以来 26 年間も社長を続けている状態は民主的な経営とはいい難く、現状からの脱却は不可欠と考えております。

DOME CORPORATION www.domecorp.com
1-3-33 Ariake, Koto-Ku, Tokyo, Japan, 135-0063 Tel: 0120-106-786 Fax: 0120-106-548

こうした状況に大いに悩み、苦しみましたが、何億年と輝く星にも寿命はあります。今回のタイミングは、神様が与えてくれた最善の機会として、ポジティブに捉え、自分の中ではしっかりと消化してきました。

その上で、創業時より社内に申し伝えていた言葉に、

「ドームはみんなが作る箱」

というものがあります。これは、社員はもちろん、お取引先様を始めとした全ての関係者の皆さまによって作られる「箱」という意味です。

皆さまにおかれましてはどうぞ、これまでと変わらずドームという「箱」をご愛顧いただき、さらなる「社会価値の創造」をご支援いただけますよう、心からお願い申し上げます。

最後になりますが、生意気な若造が 26 歳で会社を始め、様々な幸運に恵まれて、今日を迎えられていることに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。また、僕自身の至らなさから、不快な思いをさせてしまったり、ご迷惑をおかけしてしまったりした方々も多くいらっしゃると思っております。特に、2020 年からの再建期においては、言葉にできないほどの苦しみを多くの方々に与えてしまいました。この場をお借りして、心よりお詫びをさせてください。本当にすみませんでした。

「ありがとう」、「ごめんなさい」。この二語も、創業以来、最も大事にしてきました。この言葉とともに、残りの任期を精一杯、誠実に全うしてまいります。

安田　秀一

DOME CORPORATION www.domecorp.com
1-3-33 Ariake, Koto-Ku, Tokyo, Japan, 135-0063　Tel: 0120-106-786　Fax: 0120-106-548